

子育て・教育部会

4月25日（木）開催

<子育てが楽しくなる地域環境>

多 様 性

発言内容

- ① 子どもが主体的に考え、例えば、子ども議会等、子どもが自らの意見を発表できる場があると良い。
- ② 親は、子どもを泣かせてはいけないというプレッシャーを感じている。地域として、子どもが泣いても良いという雰囲気になれば良い。

発言内容

協 働

- ① 地域住民が子どもや保護者を知ることが大切である。そこから見守りの輪が広がっていくと思う。
- ② 悩みを抱えていながら、どこにもつながっていない保護者への支援が必要である。
- ③ 保護者が子育てを楽しめない状況におかれることもあるので、保護者同士が悩みを話し合い、共感できる場・受け止めてくれる場があると良い。
- ④ 地域の大人、関係機関、民間事業者等、様々な人たちがいっしょになって地域の子どもに関わっていく、子どもに優しいまちづくりが必要である。

答申のイメージ

- ① 子どもは、主体的に考え、公の場で自らの意見を表明している。
- ② 子どもやその保護者が、地域の人々から見守られ、のびのびと安心して子育てができています。

答申のイメージ

- ① 区民は、地域に住む子どもや保護者を把握し、見守りの輪が広がっている。
- ② 悩みを抱えている保護者が孤立せず、支援につながっている。
- ③ 保護者同士がそれぞれの悩みに寄り添い、共感できる場がある。
- ④ 地域の中の垣根を越えた連携により、子どもにとって優しいまちが形作られている。

スタートアップ

発言内容

- ① 初めて子どもを持つ産前産後期の保護者は孤立しがちだと思う。幼稚園や保育園に通うようになると、保護者同士で悩みを話したりできるが、その前の時期については支援が必要である。
- ② 若者がロールモデルとなる人から話を聞くことができる等、地域に若者の自由な居場所があると良い。

発言内容

そ の 他

- ① 例えば、プレーパーク等、子どもが自由に楽しく遊べる地域環境（遊び場）の整備が必要である。
- ① 子どもに遊び方を教えられる親が減ってきているように感じる。
- ② 子どもが昔と比べ、活動的ではなくなっている。活動的になることができる環境の整備が必要である。
- ② 子どもには自ら工夫して遊ぶ力が備わっている。子ども自身が、創意工夫して遊べ、ルールも自分たちで決められるような公園があると良い。
- ③ 家庭に複雑な事情を持つ子どもが何も聞かれずに居られる場所が必要である。
- ④ 小学生とは別に、中高生の放課後の居場所が必要である。

答申のイメージ

- ① 初めて子どもを持つ保護者が孤立せず、安心して子育てができています。
- ② 中高生は、地域に活動する場所があり、地域の一員として活躍しています。

答申のイメージ

- ① 子どもが自由に楽しく遊べる環境が整っている。
- ② 子どもが、自ら遊び方を工夫し、元気に活動できる環境が整っている。
- ③ 様々な事情を持つ子どもが、静かに見守られる居場所が整っている。
- ④ 中高生の興味に応じた活動ができる放課後の居場所が整っている。

<子どもの命と権利の保護>

多 様 性

発言内容

- ① LGBT、外国人など、個々の違いを認め合うことができる子どもを育てていくことが大切である。
- ① 子ども同士が、多様性を認め、他者への思いやりや配慮を理解しあうことができる環境が必要である。

発言内容

協 働

答申のイメージ

- ① 子どもは、人それぞれの違いを受け入れ、他者への理解や思いやりの心を育てている。

スタートアップ

発言内容

- ① 校則等について、子どもと学校がフラットに語り合えることが大切である。
- ② 子どもが自分の気持ちや意見を言える環境を整えることが大切である。
- ③ 特別な支援を必要とする子どもであることを受け入れられない保護者が、支援に結びつくようにする必要がある。

発言内容

そ の 他

- ① 少くくなら叩いても良いと思っている親もいるが、体罰は良くないという認識が定着すると良い。
- ② 中学校受験のために保護者が子どもを頑張らせすぎる教育虐待がある。子どもが息抜きできる場があると良い。
- ③ 子どもの虐待を予防する観点からも、子育てに疲れたときに、保護者が自分の時間を持てるように、一時的に子どもを預けられる環境が必要である。
- ③ 多胎児の保護者の育児への負担は大きいと思うので、重点的に支援できる体制が必要である。
- ④ 子どもの虐待等の相談業務を担当している行政職員や学校の先生が、100%の力を出せる職場環境が整っていることが大切である。
- ④ 区のアンケート調査で、子どものしつけ・育て方に大きな戸惑いや不安を感じている保護者の割合が多いが、しつけや育て方のどの部分に感じているかを聞く必要がある。

答申のイメージ

- ① 子どもたちが、大人とともに考え、語り合える環境が整っている。
- ② 子どもたちが、公の場で自らの気持ちや意見を表明できる環境が整っている。
- ③ 特別な配慮を必要とする子どもとその保護者が、早期に適切な支援に結びつき、個々の特徴にあった支援を受けている。

答申のイメージ

- ① 子どもへの体罰は良くないという認識が定着している。
- ② 児童虐待の発生予防・早期発見につながる地域環境が整っている。
- ③ 子育てに悩む保護者が、自分の時間を持ち、息抜きできる場所がある。
- ④ 職員は、子どもや保護者の状況を把握しながら、それぞれの専門性を活かした相談・支援を行っている。

<地域の子育て力>

多 様 性

発言内容

- ① 子どもの格差は、放課後の過ごし方から広がっていくと思う。家庭の事情が子どもの放課後の生活に現れると思うので、子どもの放課後の過ごし方への支援が大切である。
- ② 児童館は、異なる年齢の子どもが一緒にの場においてタテの関係ができる良い交流の場になっている。
- ② 子ども同士で解決させ、大人は口を出すのを我慢するというのも大切である。
- ③ 外国籍の子どもが戸惑うことなく生活できる支援が必要である。
- ④ ダイバーシティの観点から地域を活性化していく必要がある。大学生や区で増加している外国人と連携することが、新しい価値を生み出し、地域を活性化することにつながる。そのためには、中核となる「地域を活性化するキーパーソン」を区が把握し、連携することが必要である。

答申のイメージ

- ① 子どもが、家庭の状況に左右されることなく、放課後や休日に、安心して充実した時間が過ごせる場が整っている。
- ② 異なる年齢の子ども同士の交流や、子ども同士で問題解決することを学ぶことができる場が整っている。
- ③ 外国籍の子どもが地域で受け入れられている。
- ④ 大学生や外国人などの新たなプレイヤー同士がつながることで、地域に新しい価値が生まれている。

スタートアップ

発言内容

- ① 家庭に近い環境で子どもが育てられるように里親制度を進めてほしい。
- ② 活動できる場があれば、自分たちのやれることをやろうという区民はいる。区の支援を強化してほしい。
- ② 母親が地域活動をしたくても、子どもがいるとできない場合があるので、例えば、活動時間中に一時保育が利用できるような支援が必要である。
- ③ P T A活動は母親の参加が多いように思うので、父親の声を教育や地域活動に反映することが必要である。

答申のイメージ

- ① 事情があり親元で暮らせない子どもが、里親などにより、安心できる環境で養育されている。
- ② 区民が、関心のある活動に気軽に参加できる場が整っている。
- ③ 父親や母親が、それぞれの立場で、地域の子育て支援に関わっている。

発言内容

協 働

- ① 私立の学校に通っている子どもに、地元に向けてもらうことが大切だと思うので、現在区が実施しているハイティーン会議を充実すると良い。また、親子で参加して街について語る親子会議等、子育て世帯の声をもっと反映できる仕組みがあると良い。
- ② 人の入れ替りが激しい中野区では、全世代で、地域の記憶を共有していく仕掛けが大切である。
- ③ 学校が安全な子どもの良い居場所となると良い。特に校庭は広いので、良い活動の場となると思う。学校は、安全面からも地域の支援者と連携をとっていくことが大切である。
- ④ 地域団体が行っている育児フェスは、民間の団体が集まり顔の見える関係になる場となっている。
- ④ 区が地域活動のネットワークづくりを支援することで、地域の子育て力が増す。

答申のイメージ

- ① 子どもたちが地域のことを知り、地域に愛着を持っている。
- ② 人やまちが移り変わっても、地域の記憶が共有・継承されている。
- ③ 学校と地域が連携・協力し、ともに子どもたちに安全で安心できる体験や学習の場を提供している。
- ④ 地域団体がつながり、子育て支援活動が活性化することで、地域の子育て力が高まっている。

発言内容

そ の 他

- ① 区のチラシがもっと魅力的なものになると、事業に参加したくなると思う。
- ② インターネット上には子育てに関する情報があふれており、誤っているものもある。正しい情報が伝わる環境の整備が必要である。

答申のイメージ

- ① 区は、区民が魅力を感じる情報を発信している。
- ② 子育てに関する正確な情報が保護者に伝わっている。